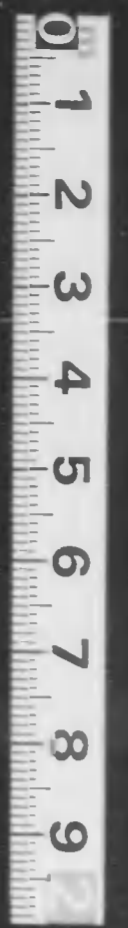


寫眞週報

內閣情報部編輯  
十月二十日・第五十號

昭和十三年十月十二日 第三種郵便物認可 昭和十三年十月十二日發行 (郵務) 第四號日發行 第五號



蔣介石よさらば

# 漢口へ十三里



夏を越へて山を越へて漢口へ  
 野の草は青々として山を越へて  
 が、わが兵士には大いなる前進の  
 るのみ、あの山を越えれば漢口  
 口た、戦へるといふと深い。



くつと肩の骨にこたえる  
 雨のやうに降りかかる  
 幾度か草に覆ひかゝる  
 跡をかけるが、風は既に  
 波を呼んでゐても、身は汗と  
 泥にまみれ、帆と漕と大  
 船をこぎつづける兵士  
 漢口へ

# ！ 秋、上向位体

## へ海



北支へ  
 満洲へ  
 臺灣へ  
 朝鮮へ  
 沖繩へ  
 瀬戸内海へ  
 南紀州へ

# 大 阪 商 船



わが武漢攻勢時歴史上に新たなる巨歩を踏み出した。江北戦線においては海軍陸戦隊及び陸軍部隊の協力はわが漢江艦隊の協力の下に敵の決意した揚子江の戦いに足踏を徒ら、或いは噴々たる岩山を突きつて奮闘、遂に揚子江の戦いに勝利した。田代の二大要塞に高く日旗をひるがへした。かくて蔣介石が今後三年間は固守しようとする武漢防衛の最重要要門を打破し、その戦線に迫らんとしたのである。また一方江南戦線における各部隊は南進、進軍の前面にあつて富水の流れを利用して敵の抵抗を試みる攻勢を遂行しつゝ、揚子江の戦いに勝利した。敵の軍事的、経済的動向は多岐にわたる。我々の進軍は増大しつゝある。漢口へ三十里！ 今敵の心臓部は激震する激しい呼吸をのいてゐる。



神速、武穴を性より田代鎮を占領したわが漢江艦隊は附近一帯の陸軍増援に先手を新たにまた進軍する。

### 江北戦線

かき分ける水の響、馬のいななきもそよる秋雨の音の間に力強く響く。敵の決意によつて一望無二化した揚子江をわが部隊は激々と渡る。

夜に日をついで、道なき方へ進みつけ、わが工兵部隊はひた押しにつき進む。敵の氣狂ひ陣にもめげず、激まかれ汗みどろの顔に完膚たる微笑をさらす。

### 江南戦線

敵々たる砲聲は山間にこだまする。ともすればと断えがちな連絡を電信線は必死に繋ぎとめる。急ぎしるへの此の陣線も今や断絶攻撃の限りなく急い一環である。

江南地区強攻の指揮する敵大軍の主たる據点揚子の包圍陣を着々と進めつゝあるわが江南進軍部隊。砲撃の調子は正確、砲撃は寸隙も外さぬ。

「長江はすでにわが手中に在り」堂々九江上流を制する漢江艦隊。江上地上相呼應しつつ武漢攻勢は着々と押しすすめられる。

同進進軍社戦線



次々と各地砲撃を放棄しながらも尚頑強に抵抗する陸軍を海軍航空隊と密接なる連絡を保ちつゝ長江北岸に迫り、果敢進軍に砲撃するわが砲兵部隊。



# 蔣介石の石つぶさ

一のそ



わたくしは豫州に近い田舎で香気に百姓をしてゐましたが、今年の春、戦さが近いとき、家財をまとめかけてみたとき、不意に敵軍の支那兵が侵入して来て、家畜、家財を略すに及ぼされ、わたくしは無理矢理に兵隊に、妻は慰問係りと稱して引立てられました。老人や幼い子供らはどうなつたことせう。



それ以来、日がたつにつれ、何處も戦をするにつれ、日本軍の強いのにはすつかりおちついてしまひました。しかし背後には日本軍より恐い警察隊がいます。退却でもしようものならず、殺されてしまひます。で、仕方なくたゞ、官憲法に戦さをしてきました。が、たう／＼六安の附近でわたくしたちは白旗をあげました。いよ／＼殺される時が来たかと思ふと、支那の人民は何といふあはれなものだらうと思ひました。

蔣介石の巧妙な抗日宣傳に導かれ、或はわが國を防衛に狂奔する抗日軍に無理矢理平和な村から驅り立てられ、官憲法軍隊に取向つては見たが、結局もろくもわが軍に捕はれてしまつた支那軍捕虜の数は實に多量に上つてゐる。

捕虜は捕へられれば必ず捕虜に處せられるものと信じてゐたが、捕へられて見れば、日本軍は捕した側に捕虜をしてくれた。派兵の代りに捕をくれた。空襲にはあつた、かい面が配給された。捕虜でもこんな待遇をうけてもいゝのだらうか。思ひもかけなかつた支那軍のあつた、かい情に、恐ろしく、抗日軍捕虜も一日と明書のやうに驅りて行く。

ところがどうせう。武装を解除されて、捕虜收容所に入れられると、飯が配給されませんでした。幾日もくたが食はず、ペコ／＼を通り越してたゞ胃袋に日本軍の飯は何とうまかつたことせう。またわたくしはわたくしは徹夜されたときの草鞋ばきのまゝといふあはれな姿でしたが、皮の靴がわたくしにありました。

撮影  
上海プレス・ユニオン

豫想した凡ての恐れは霧のやうに消えて、捕はれの身ながらける日本軍のあつた、かい情が一日と身に溢みてきました。今朝も、時があつたとき、故友の顔を見たと、どの細も安心にやほらさ、新しい希望に燃えてゐます。蔣介石よさらば、わたくしは固く決心しました。皆も無言のうちに明瞭にさう語つてゐます。



傷をしたものは新しい真白な襦袢で手當をうけてゐます。捕殺されるものとはかなり違つてゐたわたくしには何か何かが分らなくなりました。

たゞ、日本軍はわれ／＼か考へてゐたやうな軍隊とは違ひ、支那の民衆はあざむかれてゐる、凄然とながらさう考へずにはゐられませんでした。





こんどの事變切つての激戦地上海郊外大場鎮。忠烈烈なる各軍將士が、その屍を以つて山となした大場鎮に、河となした大場鎮に、いまだその血を以つて永くたへるべき戦場將士表忠塔が支那捕虜の手で建設されつつある。

かつて抗日の波に躍らされ、わげもなく奮戦した身にも、捕へられて以来の苦難の暇かい情が逐みわたつて、心から敵日に嚙みつき、憤りある毎日に、いまましい情事を承してあるが、こんどの表忠塔建設工事に召集された捕虜たちも、わが勇士の捕虜の下、毎日奮々と働きつとけてある。

あの當時、支那軍でこの大場鎮が陥ちるなど思つたものがあつたらうか。あれだけの堅固な陣地がどうして陥ちたのだらう。それにしては俺たちは馬鹿だつた。抗日即救國だなど信じ切つて命懸けで日本と戦ふなんて、捕虜の一人がよとひとりごちる。

秋風の大きな、赤とんぼが三つ五つ、すい〜と飛び交つてゐる。



丘らしい丘一つない大場鎮に、捕虜の眞心は丘を作つた。表忠塔の足場が秋空をくつきりと切つてゐる。竣工は近い。雲々と土を運ぶ捕虜たちの列が今日も戦場丘につづく。

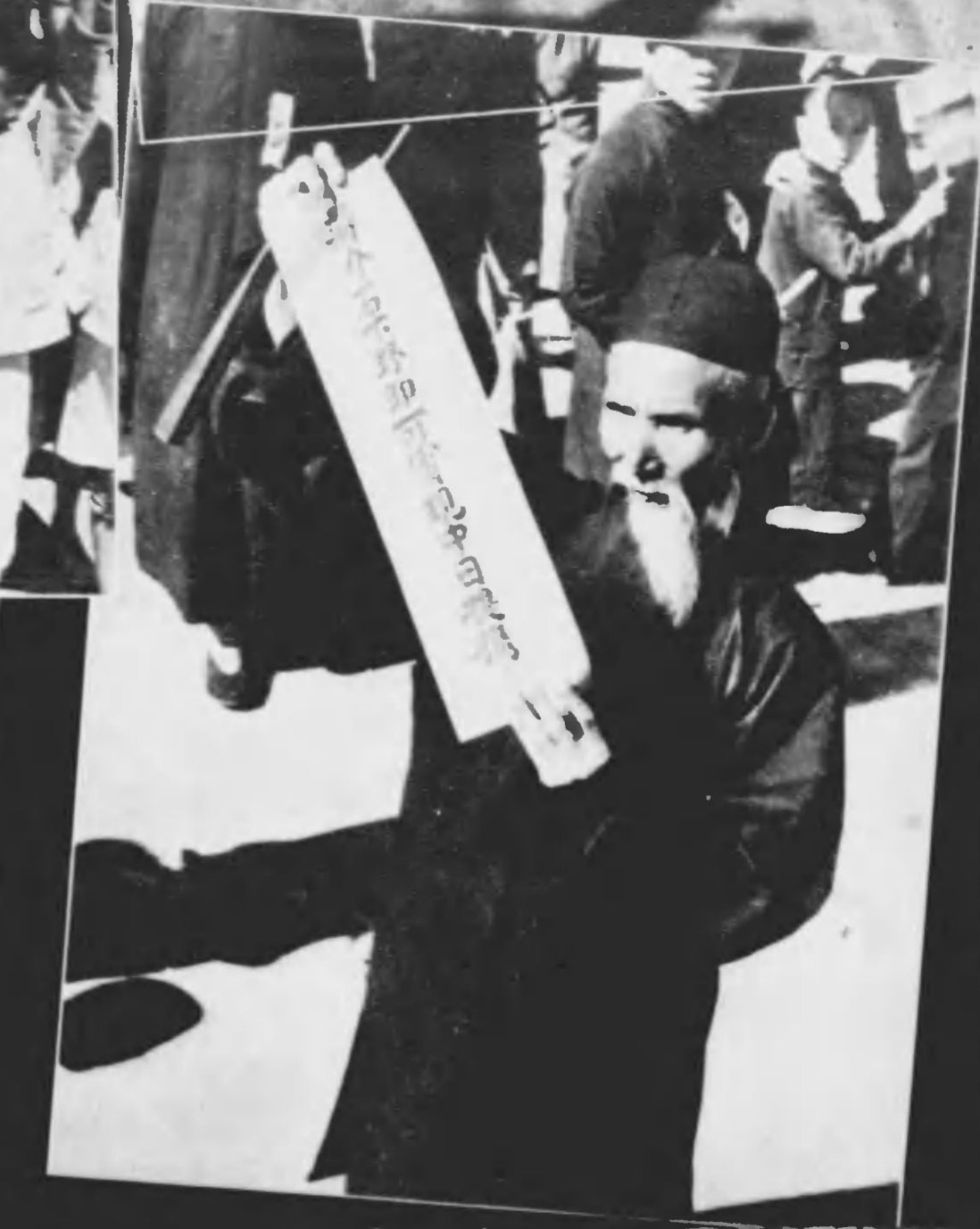
シヤベルに掘りかへされる黒い土、この土の中には日本の勇士の尊い血がどれほど混みこんでゐることだらう。しかし、徒らに死んで行つた支那兵たちの血潮は更に多いであらう。あたりをばらよ秋風にいひしれぬ哀愁が捕虜の身にもしみる。

捕虜にも日本の軍体を敬へ、軍紀に従はせ、優秀なものは除隊を選んで、皆の糧食をさせてゐる。食卓前隊長の號令一下日軍旗に向つて日本式の敬禮をする。

撮影 上海プレス・ユニオン



蔣介石の抗日暴行をつひた全體的に新  
黄の色が見えはじめた。  
日本を侵略し、支那民衆の血を  
吸い、日本の財産を略奪し、支那民衆の生命を犠牲に供しては、たゞ蔣介石の海陸空日政策も、わが國の國運が  
危殆に瀕するに及んで、その化をばがれてしまつた  
蔣介石こそ支那國體の民を恨むつて  
つひつと暴行を逞げ、支那を共産主義  
から覆つた。北京から漢口から上海  
から蘇州から、北支支の國をこころか  
ら滅ぼして来た。



為維持組織中華民國國防共和平會事  
 國難當前，力能抗敵，共赴國難，此乃國民之天職也。本會為維持組織，保衛國家，特發起此項運動，以期全國同胞，一致行動，共禦外侮。凡我同胞，務請踴躍參加，庶幾國難可解，而國家有救也。

野下野下 蔣介石野下 野下野下 蔣介石野下

不用品交換即賣會



撮影内閣情報部 及・光 弘



日本婦人團體聯盟の主催で九月二十八、二十九の三日間、東京府商工獎勵館で開かれた不用品交換即賣會は、入場者総數一〇、九二六八賣上總額五〇、八四四九錢、午前四時頃から押し寄せたお客様の整理に連日數十名の警官が出動したといふ盛況でありました。

この日本婦人團體聯盟といふ會は、昨年の九月八つの婦人團體が協力して鉄道の隣りにつく爲に結ばれたもので(参加團體は日本女醫會、日本基督教婦人矯養會、日本消費組合婦人協會、婦人平和協會、婦人同志會、婦人選擧權同盟、基督教女子青年會日本同盟、全國友の會、今日までも保健衛生、児童問題、婦人労働問題等いろいろの活動をしてきましたが、今度の催しは「家産の死産品を活性化し有無相違して節約を計る」一目的で考へ出されたもので、今までも行はれてゐるこの種の催しを調査と結びつけた體なです。

そこで出品は寄附とせず、全部賣る立前ととりその賣上は愛護貯金にして賣ひ、買手も安い品でまたあつたけ、いくらかでも貯蓄をして買ふ。又主催側は手数料を二割五分引つてそれで消費、運送、陳列の諸費用に充てる。この方法でまづ電氣にかゝりました。

賣場期間は九月一日から十五日までの二週間、各團體がそれ／＼數珠を作つて會員は勿論引く一般家庭からも集めました。その成績は想像以上によく、總數三萬六千點に及びました。その内襦袢を大別すると、和服は男物が約五八〇點に對し、女物七三〇〇點、帯だけでも二千三百本を超え、手帕が二千本にも達してゐますが、洋服になると男物約三千點に對し、女物四千點、子供服は襪石に九千點近くありました。

蒐集した品物は全部東京市消費所に送つて完全消毒をした上で、整理、値段づけを行い、會場に陳列しするまでに、凡そ一週間毎日二百人から八人の人が動員されました。値段づけは専門家の協力の下に行ひ出品者の希望値段によつたものであります。

さていよいよ會場に陳列してみますと、立派なデパートで、賣子二百五十人は全部各團體の會員が當りました。賣行はやはり子供服、男子洋服、靴が先頭で和服も大平片つき中には八十圓で縮緬丈一切、裏まで揃へたといふ例などもあつて、種品は夏物を主とした約四千點、これも近く江東方面で第二回を開けばすく片づいて了ひさうです。

會期中近隣の婦人團體



金子しげり



1 賣場の整理、死産品をよかけ、の要は要を呼んで、午前四時、まだ新聞配達のため見えぬ未明からお客は會場の商工獎勵館に到着、八時ころには數町の陣道をきつりとよみ、ひしめき合ひ、整理の警官隊も聲をからし、汗びつしよりの盛況。

2 會場には、婦人團體が東京市内の各家庭から集めたおびただしい不用品、男、女、子供各種各様の着物あり、洋服あり、家具あり、履物あり、その中から欲しくて持好なものを探す手、眼、二百五十人の婦人團體員は賣子となつて眼の肥るやうに泳ぎまはる。歳末の百貨店特賣場風景以上の物さである。

3 主催者側では門外に陳列する數千のお客に公平を期するため、三十分間、一人十點以内と定めて三百人づつを區切つて入場させた。

4 「さう、お母さん、こんど生れる赤ちゃんの産着買つてくるんだつたわ、安かつたのよ」 「さうだつたね、あしたや年寄りのくせにうっかりしてたね」

この母親づれは一體どんな必需品と不用品から選んできたらうか。



二、少女子は  
あつきころに  
そをばきし  
なみだながしき



三、十年へぬ  
かまじこころに  
恋をなくして  
涙とをりて



(5) 譜画謡歌民國

のとさるふ

—定撰會協送放本日—

ふしさと  
三本笛風作詞  
新島俊三作曲



一、ふるさとの  
小野の木立に  
笛の音の  
うるむ月夜

撮影  
新島俊三







「ドイツ国防令や定し」と叫ぶヒ  
 特勒に應へて、空軍と機械化部隊  
 の大示威演習。  
 ズデーテン・ドイツ人を救へ、  
 と黨員に一大獅子吼を試みるヒッ  
 トラー総統

に文化會、労働奉仕團大  
 行進、ナチス婦人團體集會、  
 全獨行政府指導者集會、ヒッ  
 トラー・ユース・ユース・ユース、  
 突撃隊、親衛隊等の分列行  
 進、國防軍の大閱兵式等を  
 含む國家社會主義ゲルマン  
 民族の誇る國民大會である

全世界の輿論を驚かしてナ  
 チスの黨大會は、九月六日  
 から十二日まで、ミュンヘン  
 ベルグの古都に開かれた。  
 果敢に「大ドイツの黨大會」と  
 名づけられたこの第十回  
 ナチス黨全國大會において  
 ヒットラー総統は、ズデー  
 テン・ドイツ人を救ふため  
 にはあらゆる手段を用ふる  
 用意がある旨を強調し、且  
 防共機軸の強化を力説して  
 第三帝國七千萬ドイツ人に  
 異常な感涙と感奮を興へた  
 このミュンヘンベルグの  
 大會は参加者總數六十萬人  
 ハーケン・クロイツ旗の下

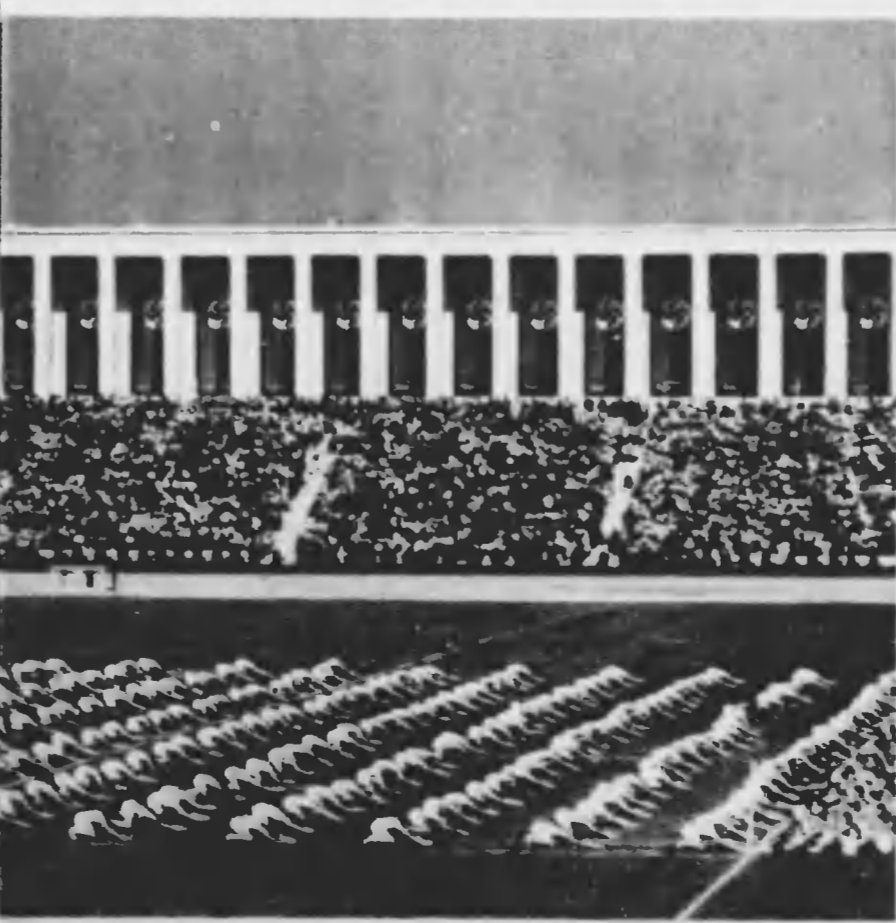
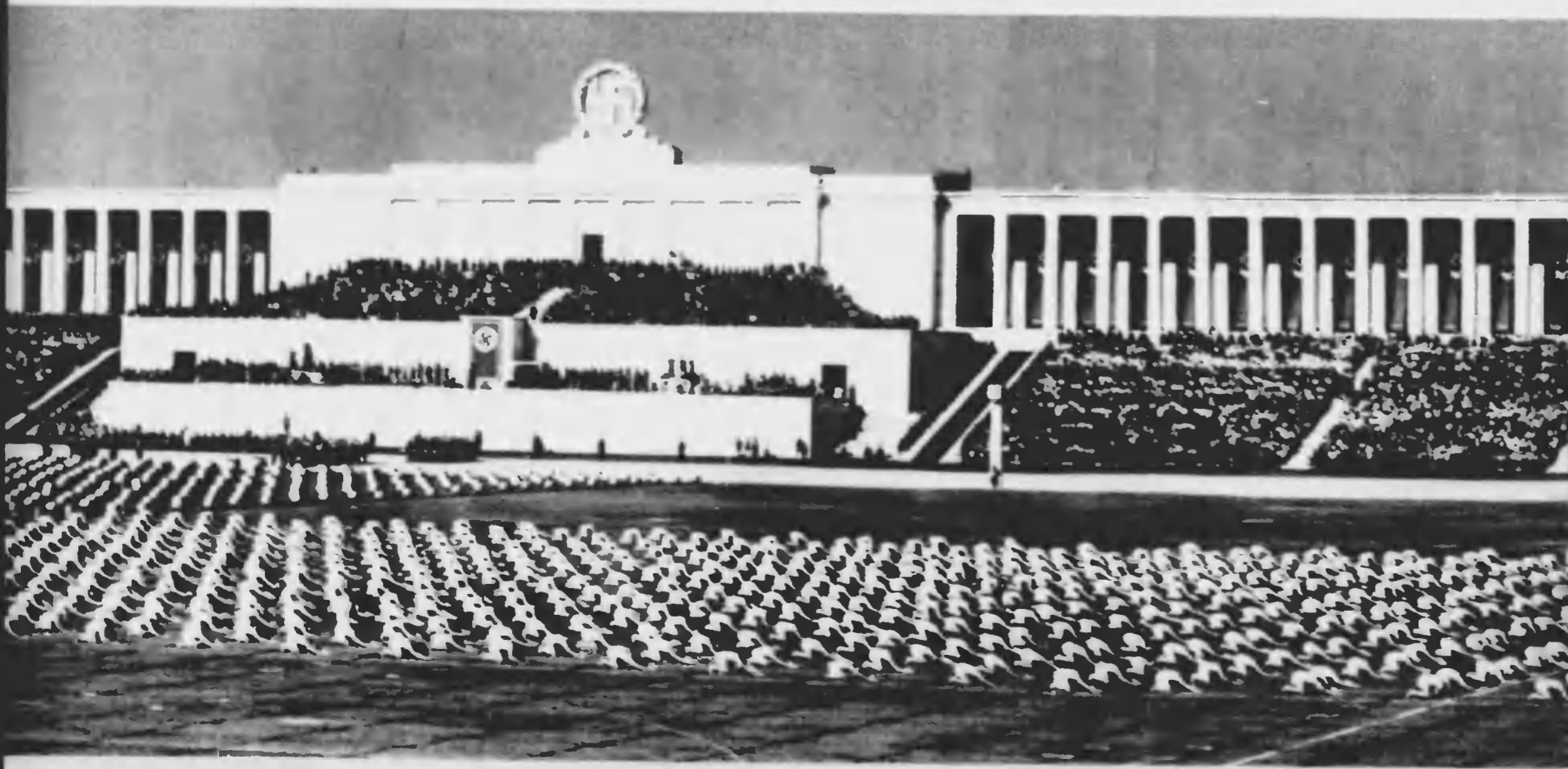
「ワッペン」廣場に於けるヒッ  
 トラー・ユースのマスゲーム。

## 方彼の海

宮 眞 徳 會

「ミュンヘンベルグの夜は黨歌ホ  
 ルスト・ヴェンセルを高唱するナ  
 チス黨員の炬火行進の波でうづめ  
 つくされた」

「福島の盟邦、日本を代表してわ  
 が大日本青少年獨逸派遣團員もそ  
 ろひの制服で參會した。後列はル  
 ー・マニヤの青少年團」





東京新聞 昭和十三年十月十二日 第三種郵便物認可 昭和十三年十月十二日發行 (毎週一回本紙と同行) 第五五號

…にめたの健保民國

# 磨齒ブラク 薬用



殺菌・淨化力の強い  
唯一の薬用齒磨

大楠公印  
クラブ齒磨



國民の齒磨！  
お家族の齒磨！  
民保健の立場から、齒磨には強い殺菌・薬理作用が必要…たと益々叫ばれてゐます。その點、眞に信頼すべきは薬用クラブ齒磨唯一つあるのみ！  
専賣特許の強力殺菌劑の作用で口中を完全に殺菌・淨化し、ムシ歯、口臭、齒槽膿腫を防止すると共に、齒と齒齦を美しく強健にします。保健と衛生のために齒磨は必ずクラブを…。



(本圖の大きさは縮定規持時、二週報一倍也)